

福島小だより

学校通信



めざす児童像：考える子 やさしい子 元気な子
令和7年2月28日 第13号

甘楽町立福島小学校
校長 新井 綱人

立春を過ぎ、暦の上では春を迎える時期に、今年は冬らしい寒い日が続きました。学校では、インフルエンザなどの感染症は落ち着いており、3月24日の卒業式、3月26日の修了式に向けて、どの学年の児童もまとめの時期に入りました。

晴れ晴れとした気持ちで卒業や進級を迎えられるよう、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

○絵本の世界をこどもたちに（絵本作家さんのお話）

PTA文化委員会の企画の一つとして、絵本作家のまつながもえさんをお招きし、1～3年生を対象に読み聞かせやワークショップを、4～6年生を対象に「絵本作家って、どんな人？」というテーマで読み聞かせを盛り込みながらキャリア教育にかかわるお話をしていただきました。



1冊の絵本を完成させるまでにすること、1冊の絵本を完成させるのにアイデアを考

え始めてから2年半かかったこと、絵を描く際に気をつけていること、絵本作家を志した理由など、児童の質問にも答えながらお話をしていただきました。これから絵本を読む時には、作家さんの思いも想像しながら読む児童もいることだと思います。

児童の感想・お礼のメッセージ（一部抜粋）

「まつながもえさんの作っている本の中で一番好きなのは、からっぽのにくまんです。また新しい本ができれば、福島小学校に読み聞かせに来てください。」（2年男子）

「実際に作った作家さんに読んでもらうとなんだか特別感があり、想像以上に楽しかったです。」（3年女子）

「本を作る時は実際に取材に行くということが絵本作家には大事なことでわかりました。」（4年男子）

「イラストを描くのが好きなので、色ぬりの質問をしました。やっぱり細かく描くのが大切ですね。参考になりました。」（5年女子）

「取材までして下絵も描いてから編集者さんにOKをもらえないと描き直しになってしまうなんてすごい大変だなと思いました。」（6年女子）

「この講演会のあと、帰る時に絵本を作る人になってみたいと、心の中で思い、また一つ将来の夢が増えました。」（6年男子）

○お金の話（税理士さんのお話）

PTA文化行事の1つとして、税理士として最大級のYouTubeチャンネルを運営している大河内薫さんを講師にお招きし、「お金の話」と題して講演をしていただきました。4年生以上の児童と約20名の保護者の方が参加しました。



お金は人生で一番使う道具であり、正しい使い方と間違った使い方があること。お金は目的にはならないこと。目的（やりたいこと）のために、お金がどれくらい必要か、どうやって集めるのか、それをどう使っていくのか考えることが大切であること…など、お金にまつわるクイズも交えながらお話しいただきました。学校ではあまり教えないことを学んだ貴重な機会となりました。

学校ではあまり教えないことを学んだ貴重な機会となりました。

児童の感想・お礼のメッセージ（一部抜粋）

「お金は多い方がいいと思っていたけど、実際にはどうお金を使えばいいかわからないし、多すぎたら邪魔になるということもわかりました。」（4年女子）

「お金は道具で、幸せになることもあるけど、使い方を間違えると怖いものになると分かりました。」（4年女子）

「お金＝道具ということを初めて知りました。私はいらないものでも、たまにすぐ買ってしまうので、しっかり貯金をして、無駄遣いしないようにしたいです。私も自分の夢のためにどのくらいお金がかかるか、しっかり調べていきたいと思いました。」（5年女子）

「自分はただお金を目的にして貯めていたから、これからはちゃんと欲しいものに合わせて貯金するようにします。」（5年男子）

「職業には『困った』を解決する人、『感謝』される職業、『熱狂』させる職業があるという3つのジャンルに分かれていることがすごくわかりやすいなと思いました。」（6年男子）